

令和2年度 事業計画書

(グループホーム 恵の家)

1) 運営の理念・基本方針

【基本理念】 「一人ひとりに寄り添う介護に努めます」

- ① 年間目標として「入居者様の今までの人生(物語)を大切にし、ゆっくり向かい合ひましょう」を掲げ、入居者様の想いに寄り添い、入居者様の意思を尊重する支援を実践します。
- ② 目標をより具体的に実行し、現場で常に理念に立ち返る事ができるよう、毎月の担当を全職員の輪番制で決め、理念に基づいた標語を作成し、事務所に掲示します。それにより職員の理念に対する意識を高めていきます。
- ③ 職員はご家族様と連絡を密にすることで、より深い信頼関係を構築し、入居者様の「望まれる暮らし」「その人らしい人生」に活かしていきます。
- ④ 入居者様が安心して、生き生きと生活することが、ご家族様にとっての安心に繋がることを理解します。
- ⑤ 毎日の申し送りの終わりに「今日も1日、入居者様が安全に、穏やかに過ごすことができるよう、チームワークで支援しましょう」というセリフを決め、職員同士で声に出して言うことで意識の統一を図ります。

2) 今年度における事業所の目標

- ① 社会福祉法人として、地域とのつながりを強化し、様々な地域貢献の方法を模索していきます。
具体的には、ホームの活動を運営推進会議や周辺団地の掲示板などを活用させて頂き、近隣住民の方が気軽に来所して頂けるよう情報を発信していきます。地域にお住いの高齢者ご本人だけでなく、ご家族の悩みや困りごとの相談を気軽にさせて頂けるような場所となれるような雰囲気作りに努め、社会資源としての役割を果たしていきます。
- ② 入居稼働率100%を維持できるよう努めます。

- ③ 介護保険の基本である自立支援を念頭に、「～してあげる」という介護ではなく、入居者様と生活を共にする生活相手（パートナー）であり続ける介護を目指します。
- ④ 内部研修や外部研修を通して、職員の知識・技術・質の向上を目指します。
- ⑤ 関係団体や地域との連携を以下のことを実施し、強化していきます。
- ・横浜市や区役所、所属する横浜市認知症グループホーム連絡会や地域密着型サービス事業所連絡会が主催する会議や研修等へ積極的に参加し、交流を深めます。
 - ・年6回の運営推進会議を通じて情報やご意見、ご要望を収集すると共に、ホームの活動を発信します。
 - ・自治会のお祭りや運動会等の催しや地域の掃除等の活動に積極的に参加し交流を深めていきます。
 - ・前年度に引き続き、地域包括センター所長に運営推進会議の構成委員として年6回の運営推進会議へ出席して頂きます。

3) 毎月の数値目標

目標：入居稼働率 100%（入居18名）

稼働目標設定		91,700千円 ÷ 365日 ÷ 18名/日 =		13,958円/人
月	稼働日数	目標		稼働率(%)
		目標利用人数	事業収入目標額	
4月	30	540	7,537,320	100%
5月	31	558	7,788,564	100%
6月	30	540	7,537,320	100%
7月	31	558	7,788,564	100%
8月	31	558	7,788,564	100%
9月	30	540	7,537,320	100%
10月	31	558	7,788,564	100%
11月	30	540	7,537,320	100%
12月	31	558	7,788,564	100%
1月	31	558	7,788,564	100%
2月	28	504	7,034,832	100%
3月	31	558	7,788,564	100%
合計	365	6,570	91,704,060	

〈基本報酬〉

- ・ 認知症共同生活介護(2ユニット)

〈加算〉

- ・ 認知症対応型医療連携体制加算
- ・ 認知症対応型処遇改善加算 (Ⅰ)
- ・ 認知症対応型特定処遇改善加算 (Ⅱ)
- ・ 認知症対応型初期加算
- ・ 入院期間中の体制の加算

入院後 3 か月以内に退院することが見込まれる時、退院後再び事業所に円滑に入居できる体制を確保 … 1月に6日を限度 246単位/日

- ・ サービス提供体制強化加算 (Ⅲ) 6単位/日
勤続年数3年以上の者を30パーセント以上配置

稼働率100%を維持するために、以下のことを実行します。

- ・ 入居者様が退居された場合は、次の入居までスムーズに行い、空床期間を短くし稼働率向上に努めます。
- ・ ホーム見学希望の連絡があった際は、いつでも見学して頂けることをお伝えし、迅速な対応をします。全職員が丁寧に相談内容に耳を傾ける対応ができるよう、接遇のシミュレーションの勉強会を定期的実施し、選ばれる事業所を目指していきます。
- ・ 来客の際は、ご家族様に限らず全ての方に対して、可能な限り全スタッフでお出迎えし、お帰りの際も全スタッフでお見送りするよう努めます。
- ・ 地域密着型サービス事業所連絡会や横浜市グループホーム連絡会へ積極的に参加し、空室や入居希望の情報交換・共有をすることで、稼働率向上を目指します。
- ・ 空床理由の60%となる入院を防ぐために、入居者様の心身の状態の把握と細かな気付きにより重症化を防ぎます。また、事故に繋がらないようリスクを予測し未然に防ぐことができる質の高い職員の育成に努めます。

4) 行事・研修の年間計画 (別紙参照)

- ① 区社会福祉協議会や地域ケアプラザ等と連携を図り、ボランティアの定期的な導入(月1回以上)を継続していきます。

- ② 接遇にあたる職員の専門的知識と技術の向上に向けて、更に、福祉従事者として人間性の獲得を目指し、外部の研修に積極的に参加します。学び得た知識は、月1回の内部研修を実施することで、全職員へ周知し共有していきます。
- ③ 介護福祉士など、職員の資格取得に向けた支援体制を強化します。
具体的には、グループホーム連絡会主催の「基礎実技講習」への参加や、対象職員の生活スタイルに合わせ、参加可能な研修の資料を選択し取り寄せ、資格取得を促します。

5) 職員体制

<職員配置体制>

- ① 介護職員（常勤換算11.6名）
早番、日勤、遅番、夜勤

- ②他職種
日勤

6) 会議、委員会

- ① 入居者様の接遇を推進する上で必要な定例会議を下記の通り、実施します。
 - ・ケアプラン会議
6か月毎に実施する。ADL等のご本人様の状況が大きく変化した場合、その都度、開催します。また3か月に1回、モニタリングを実施しご本人様の変化や目標の達成度、サービスの内容は適切であるか等を確認し、よりよいサービスの提供を目指します。
 - ・ユニット会議
毎月1回程度、開催します。入居者様の様子や対応の確認のほか、その月のヒヤリハット、事故報告を職員間で共有します。個々のケースを分析し、皆で再発防止策を検討します。また行事・レクリエーションの確認、全体の課題や問題を検討したり、職員の意見交換の場として活用します。
- ② 身体拘束委員会を3か月に1回(年4回)開催し、併せて内部研修を実施します。

- ③ 消防計画に基づき年2回以上の防火・防災訓練を企画・実施します。訓練は職員の配置の少ない夜間を想定したものとします。日程を運営推進会議と同日に設定することで、地域の方や知見を有する方の参加を可能にし地域との交流を図ります。また、ご意見やアドバイスを頂くことで、恵の家の防災対策に活かしていきます。
- ④ 瀬谷防災ネットワークの研修・講演に積極的に参加します。また、防火・防災・救命に関わる内部研修を定期的実施し、職員の知識と意識の向上を図ります。

7) 研修(人材育成)

- ① グループホーム連絡会主催で年1回実施される現場交換研修に参加し、他グループホームの支援方法を学び、恵の家の支援に活かします。
- ② 内部研修の内容を恵の家の職員としての意識を高めることができるよう、具体的な内容とし、理念に沿ったケアを実践することに努めます。
- ③ 毎月1回以上の内部研修を実施し、知識の取得や職務に関するスキルアップを図ります。
- ④ 入職後、短い期間で退職となるケースを防ぐため、指導する側の職員の質の向上を目指し、外部の「指導者向け」や「リーダー向け」の研修を積極的に受講します。
- ⑤ 職員個々の目標を明確にし、意欲の向上に繋げていきます。
- ⑥ 個人情報保護に関して、以下のことを実施します。
 - ・外部研修への参加、内部研修の実施により、職員への個人情報保護法の理解を深め、規定書類の運用を的確に行います。
 - ・再利用した用紙やメモの裏面の情報に細心の注意を払います。
 - ・「ご家族以外からの電話があった場合の対応マニュアル」を事務所に掲示し、事故防止に努めます。

8) 入居者様への支援内容

- ① 居室担当の役割を理解し、入居者様の心の声を聴き、よき理解者となるように関わっていきます。入居者様からのご希望やご意見は、月1回のユニット会議にて共有し、居室サービス計画書へ反映させていただきます。
- ② 入居者様が主役である「その人らしい人生」を送って頂くために、ポジティブな視点を常に持ち、ケアに繋げていきます。
- ③ プラン見直しの際は、居室担当が中心となり、「ケアプラン作成事前資料」に沿って、ご本人様とご家族様へご要望等の聞き取りをし、プラン会議にて話し合い、ケアプランに反映します。
- ④ 2か月に1回、開催する「入居者懇談会」をご家族が出席される運営推進会議と同日にすることで、ご家族様にも参加して頂き、ご意見やご要望をお聞きする機会を定期的に持ちます。

9) 苦情対応について

- ① 苦情受付担当者と苦情解決責任者を掲示し、苦情対応マニュアルに沿って対応をします。
- ② 「ご意見箱」を設置し、ご意見や苦情をいつでも申し出ることができる環境を整えます。
- ③ 職員以外の第三者機関の連絡先を掲示し、職員以外でも受付していることを周知します。
- ④ 苦情があった際は、「苦情受付記録簿」を作成し、迅速な対応をします。

10) 事故防止の取組(再発予防)

- ① 同じ研修を定期的に、繰り返し実施し、毎月のユニット会議で事故に対する意識の向上に努めます。
- ② 毎月のユニット会議にて、その月のヒヤリハット、事故報告を職員間で共有し、個々のケースを分析し、皆で再発防止策を検討します。

③ 薬に関する事故が減ってはいるものの、ゼロではないので、下記の取り組みを継続・実施することで、薬に関する事故ゼロを目指します。

- ・薬のセット時と服薬時は必ず職員2名で対応します。
- ・与薬時は、名前・日時(○月○日、○○後薬)と声に出し確認します。
- ・入居者様の薬に名前、日時の印字をし、さらに服薬時間が明確に分かるように色分けしたラインを引きます。
- ・「服薬後、食堂の床を掃く」ということをルール化し、落薬事故を防止します。

1 1) 施設設備の保守管理

- ⑦ 定期的に点検を実施することで、ホーム内設備の不備や不具合を早期に発見し、早急な修繕に努めます。
- ⑧ 設立から15年経過しているため、フロアや居室の床、壁紙の剥がれ、経年劣化による設備の不具合等が目立ってきています。入居者様の安心・安全確保の観点から、大規模な修繕を検討します。

2020年度 グループホーム 恵の家 年間計画

		日 程	行 事	内 容	担 当
2020年度 年間計画 年間目標は 「入居者様の 今までの人生(物語)を大切に、ゆっ くり向かい合 いましょう」	4月	初旬	花見ドライブ	レク	
		12日	レク	ボラによるレク	
		26日	運営推進会議		
		26日	入居者懇談会		
		26日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ	
			壁新聞		
	5月	3日～5日	菖蒲湯	レク・入浴時に実施	
		1日～5日	こいのぼり見学	レク	
		5日	子供の日	レク・おやつ	
		日	こどもフェスティバル	レク	
		10日	レク	ボラによるレク	
		31日	誕生会	レク・おやつ	
		壁新聞			
	6月	14日	レク	ボラによるレク	
		日	ワックス清掃・紫陽花見学	レク・外食	
		28日	入居者懇談会		
		28日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ	
		28日	運営推進会議		
		28日	消防訓練		
		壁新聞			
	7月	7日	七夕	レク・行事食	
		7月中	個別外出		
		12日	レク	ボラによるレク	
			清風荘夏祭り	レク	
			南部まつり	レク	
		26日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ	
		壁新聞			
	8月	9日	レク	ボラによるレク	
日		蟹沢公園納涼祭(花火大会)	レク		
30日		運営推進会議			
30日		入居者懇談会			
30日		誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
		壁新聞			
9月	13日	レク	ボラによるレク		
	20日	敬老会	全体行事		
	9月中	外出レク	レク		
	27日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
		壁新聞			

【注意】

- ①壁新聞は前月のレク等の様子を毎月10日までに掲示して下さい。
- ②全体行事については全職員参加です。
- ③会議以外のレク・行事食・外食の担当者は、前月の25日までに計画書を施設長に提出し、承認を得てください。

2020年度 グループホーム 恵の家 年間計画

2020年度 年間計画	日程		行事	内容	担当	
	年間目標は 「入居者様の 今までの人生(物語)を大切に、ゆっ くり向かい合 いましょう」	10月	4日	大運動会	レク・行事食	
11日			レク	ボラによるレク		
25日			運営推進会議			
25日			消防訓練			
25日			入居者懇談会			
25日			誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
			壁新聞			
11月		8日	レク	ボラによるレク		
		11月中	個別外出	レク・外食		
		日	果物狩り	外出レク		
		日	恵フェスティバル			
		29日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
			壁新聞			
12月				大掃除		
		13日	レク	ボラによるレク		
		20日	クリスマス会	全体行事		
		20日	運営推進会議			
		20日～22日	ゆず湯	レク・入浴時に行う		
		20日	入居者懇談会			
		20日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
		日	ワックス清掃・外出レク			
		27日	忘年会	レク		
		壁新聞				
1月		1日	元旦	行事食		
			初詣	レク		
		2日	新年会	レク		
		日	どんど焼き			
		日	餅つき			
		31日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
			壁新聞			
2月		3日	節分	レク		
		14日	レク	ボラによるレク		
		28日	運営推進会議			
		28日	入居者懇談会			
		28日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ		
			壁新聞			
3月	3日	ひな祭り	レク・行事食			
	3月中	個別外出	レク・外食			
	14日	レク	ボラによるレク			
	28日	誕生会(お楽しみ会)	レク・おやつ			
		壁新聞				

①壁新聞は前月のレク等の様子を毎月10日までに掲示して下さい。

②全体行事については全職員参加です。

③会議以外のレク・行事食・外食の担当者は、前月の25日までに計画書を施設長に提出し、承認を得てください。

グループホーム恵の家 内部研修 年間予定

	予定テーマ	実際に行った研修	実際に行った研修の内容	参加者
4月	認知症の基礎知識			
5月	身体拘束①			
6月	認知症ケア 防災訓練①			
7月	身体拘束②			
8月	コンプライアンス			
9月	感染症予防			
10月	防災訓練② 身体拘束③			
11月	レクリエーション			
12月	看取り			
1月	権利擁護			
2月	身体拘束④ 口腔ケア			
3月	プライバシー、個人 情報保護			

※実施済みのテーマは薄い色の文字としています。（または、手書きで二重線を引きます）